

令和4年度事業予算

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

会員増加、企業への情報発信の為、会員からの寄付金（よこはま夢ファンド助成金）や、過去の繰越金も利用し積極的な予算配分を行います。過去の繰越金を大きく使うこととなりますが、2022年度は「会員減→予算減→活動縮小→会員減」の悪循環からの脱却に目途をつけることを目指します。

(単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費 (注1)		300,000	
2. 横浜夢ファンド (注2)		340,000	
3. その他収益		0	
経常収益計			640,000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費	0		
人件費計	0		
(2)主幹事業			
会場費（日曜発明教室） (注3)	180,000		
ZOOM契約料 (注4)	10,000		
教室資料印刷代	3,600		
講師謝礼 (注5)	50,116		
賞金・賞品代	31,000		
主幹事業計	274,716		
(3)主幹事業外事業（イベント・出前講座など）			
開催関連費	10,000		
旅費交通費 (注6)	6,000		
主幹事業外計	16,000		
(4)付随事業(会報・ホームページ)			
印刷代	11,000		
郵送代	28,000		
サーバー代	6,000		
付随事業計	45,000		
(5)付随事業(会員増強、協賛・マッチング企業開拓)			
印刷代	30,000		
旅費交通費 (注7)	50,000		
郵送代	30,000		
付随事業(会員増強、企業開拓)計	110,000		
(6)雑費			
事業の為の文具・消耗品費	3,000		
旅費交通費 (注8)	5,000		
その他	11,000		
雑費計	19,000		
事業費計		464,716	

科目	金額		
2. 管理費			
事務所家賃・振込手数料	225,600		
電話代	32,000		
ホームページ維持費	7,190		
理事会費用 ZOOM契約料 (注4)	10,000		
総会費用 (注9)	6,000		
管理の為の交通費 (注10)	40,000		
管理に関わる文具・消耗品	5,000		
その他 (注11)	5,000		
管理費計		330,790	
経常費用計			795,506
当期経常増減額			-155,506
当期正味財産増減額			-155,506
前期繰越正味財産額			182,917
次期繰越正味財産額			27,411

(注1) 2021年度会員：3法人23個人、2022年度予想；3法人20個人で計算。

(注2) 2021年12月末までに「よこはま夢ファンド」への当会指名寄付額。寺嶋之朗氏15万円、斎木隆士氏15万円、小峰一男氏3万円、鋸屋卓明氏1万円。

(注3) 会場費平均15,000円×12ヵ月で計算。(2021年度平均11,716円、2020年度平均17,795円)

(注4) ZOOM契約：現ドル建て年払。2021年8月円換算19,975円。理事会と発明教室で利用のため、一旦、事業費と管理費にそれぞれ1/2計上。

(注5) 会外講師による講演依頼を年4回で試算。源泉徴収税を含む11,137円×3回、16,705円×1回で計算。

(注6・7・8・9) 2022年度は会員獲得や企業PRの積極的PRを行います。その為、新規会員獲得や企業へのPR活動の交通費と、出前講座やイベント参加の交通費、その他事業活動上の交通費、管理の為の事務所等への交通費を分離して管理します。

(注11) 所轄庁への届出や申請の為の経費(印刷代、郵送代)などを計上します。